

## 三重大学医学部附属病院放射線診断科 学術研究に関するお知らせ

### 大動脈疾患に対するステントグラフト内挿術の有用性の検討

大動脈・動脈疾患に対するステントグラフト内挿術の有用性は海外の研究で証明されています。本邦でも本治療法は厚生労働省の承認を得て広く普及していますが、その有用性を明らかにした論文は少数です。この研究の目的は、当院及び共同研究施設においてステントグラフト内挿術を受けられた患者様のデータを解析し、本邦における本治療法の有用性を明らかにすることです。

### 当院及び共同研究施設で1997年5月から2016年12月までに大動脈・動脈疾患に対するステントグラフト内挿術を受けられた方へ

当院は患者様の診断及び治療を最優先で行うこととしておりますが、同時に医学の発展を目的とした研究機関でもあります。この研究によって本邦における本治療法の有用性を明らかにし、今後の患者様の診断、治療に役立てることを目指しています。

### 研究の内容及び方法について

この研究では1997年5月から2016年12月までに当院及び共同研究施設において大動脈・動脈疾患に対するステントグラフト内挿術を受けられた患者様の治療成績を検討します。年齢、性別、症状、既往歴、併存症、内服薬、画像検査結果、検体検査結果等の臨床データを匿名化、番号化した上で解析します。研究対象となる患者様に金銭的なものも含めご負担を求めめることはありません。

この研究において、ご自身の臨床経過やデータの使用を希望されない場合には、お手数ですが、下記の連絡先までご連絡をいただくようお願いいたします。

この研究の内容及び方法は以下の条件の下に、三重大学医学系研究科・医学部研究倫理審査委員会の承認を得ています。

○本研究への参加は任意です。

○本研究への参加に同意しないことによって不利益を受けることはありません。

○研究参加者は、自らが与えたインフォームド・コンセントについて、いつでも不利益を受けることなく撤回することができます。

○個人情報の保護を厳守します。

- 研究成果は、学会、研究会、学術論文以外では公表しません。
- 本研究に参加する利益として、研究の結果が今後の患者様の診断、治療に役立つ可能性があります。一方、万が一個人情報情報が漏れた場合には、心理的及び社会的被害を与える可能性があります。
- 研究参加者及び代諾者が本研究の結果の開示を希望された場合には、結果を報告します。
- 本研究の成果の権利は当院に帰属します。
- 一旦、学会、研究会、学術論文で発表した後はデータ保存のため、協力者からの申し出があってもデータを除去できません。
- 本研究は係る利益相反はありません。
- 本研究で得られたデータは解析用コンピュータ内に匿名化して保存され、2022年12月31日までに廃棄されます。
- 本研究に関する問い合わせ、苦情等がございましたら下記の連絡先まで2022年12月31日までにご連絡ください。同意を撤回される場合も同様です。

連絡先:

三重大学医学部附属病院 血管ハートセンター 助教 茅野修二

住所 〒514-8507 三重県津市江戸橋2丁目174番地

電話 059-231-5029

FAX 059-232-8066